

相模湖系導水路（川井接合井から西谷浄水場）改良事業について（情報提供）

1 現状と目的

相模湖系導水路は、西谷浄水場へ導水する施設です。西谷浄水場では、「1 水源 1 浄水場」「自然流下系の優先」の方針に基づき、相模湖系水利権水量全量（39.4 万m³/日）を浄水処理できるように、再整備を進めています。

本事業は、相模湖系導水路のうち川井接合井から西谷浄水場の区間での、耐震化および導水能力増強（現状約 27 万m³/日）を目的に新設導水管および連絡管の整備を目的としています（図 1）。

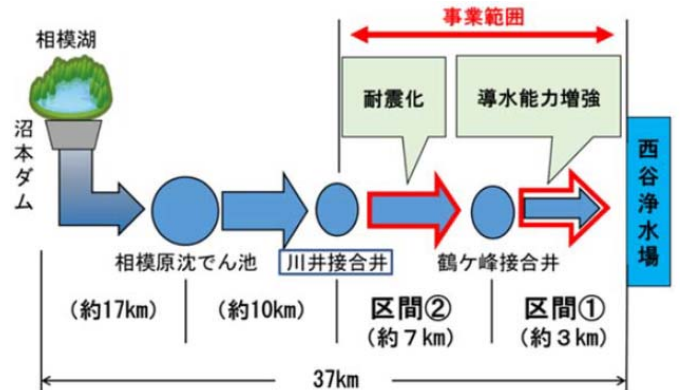


図 1 相模湖系導水路概要

2 事業概要

新設管は、川井接合井から西谷浄水場までの区間の新設導水管を口径 2400 mm で、新設導水管から工業用水道鶴ヶ峰沈殿池までの区間の連絡管を口径 1500 mm で新たなルートに整備します。（別紙 1 参照）これらの水道管は、通行止め等の社会的影響が最小限となるようにシールド工法で地下 30m から 50m 程度の深さに整備します。地上で工事作業が発生する場所は、水道施設（川井浄水場、西谷浄水場、鶴ヶ峰配水池、工業用水道鶴ヶ峰沈殿池）の敷地内や公用地、旧旭・瀬谷サービスセンターの跡地を予定しています。

3 事業スケジュール

今年度は、平成 29 年度から実施している基本設計と新たに地質調査を実施します。

来年度以降に契約手続きを経て設計・工事を行っていく予定です。この設計・工事期間は、約 12 年と想定しており、令和 14 年の完成を目指します。（表 1）

表 1 現段階の事業スケジュール

	R 元年度	R 2	R 3	R 4 ~ 14
内容	基本設計			
	地質調査			
		契約手続き		
			設計・工事 14 年度完成予定（設計・工事約 12 年）	

4 地質調査について

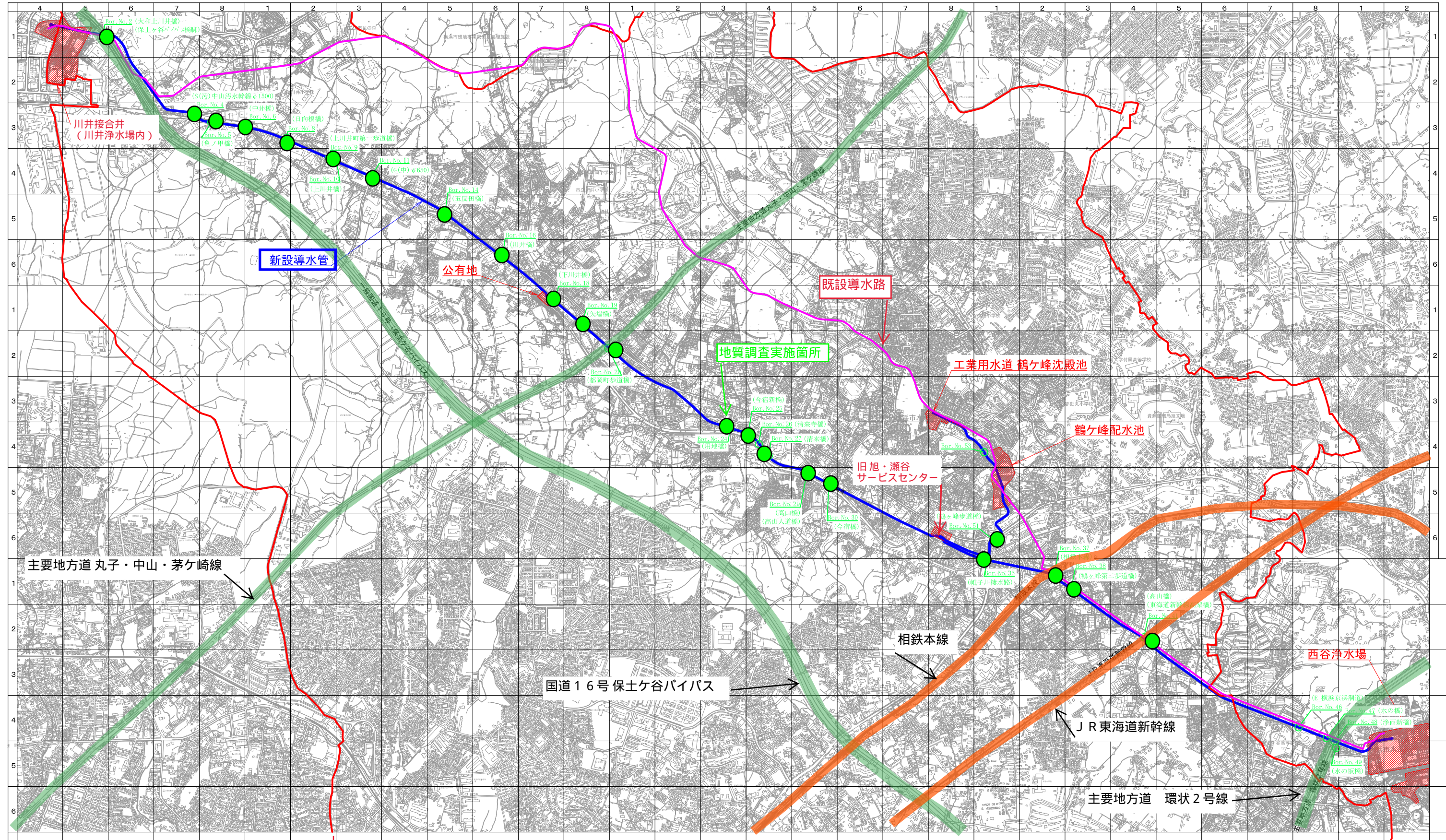
今年度実施する地質調査は、導水管を整備する予定の国道16号と水道道沿いの場所を基本とし、22箇所ですべて15～70m程度の深さまで調査します。調査の契約期間は、令和1年10月から令和2年3月までで、現地での調査期間は、令和1年11月から約3か月間を予定しています。

地質調査は、写真1のように調査箇所にやぐらを設置して地下に穴を掘り、土の強度や種類等について調査を実施します。(写真1) 詳細な調査箇所は、交通への影響や安全性を考慮して決定します。1箇所あたりの調査は、上記にお示しした期間のうち1～2週間程度の昼間で、複数箇所を同時に調査することを予定しています。また、調査箇所の近隣にお住いの皆様へは、調査前に調査期間等についてのお知らせをお配りします。

なお、地質調査による水道の断水等はありません。



写真1 地質調査実施状況 (イメージ)



→ 旭区

旭区 ←

	: 区境		: 地質調査実施予定箇所
	: 新設導水管予定位置		: 地上の作業予定箇所
	: 既設導水路位置		